



まずは私のプロフィールです。昭和37年に旧小野田市(山陽小野田市)に生まれました。旧小野田市は、セメントの町として栄え、セメントを精製する徳利窯が現存しています。私が誕生した年は、ビートルズがレコードデビューした年と丁度重なった縁もあり、私はビートルズの大ファンで、数々の名曲の中でも、「イン・マイ・ライフ」という曲が最も気に入っています。

また小野田に住んでいた頃から、プロ野球チーム「大洋ホエールズ」を応援してきました。小学6年生の時、旧小野田市野球場で、大洋対ヤクルトの公式戦が開催され、友達と連れ立って観戦に行き、私達小学生にも、マルハのソーセージとミカンの缶詰がもらえました。それが子供心に嬉しくて感動し、その後、大洋が下関を本拠地としていたことを知って以来、大洋ファンになりました。選手の中では平松投手やシピン選手が大好きでした。球団名も変わった現在、山口市内にある横浜 DeNA ベイスターズの後援会に所属して、歴史的に本県で誕生したチームに今なおエールを送り続けています。

次に今年3月で退職した山口県庁勤務時代です。昭和60年に県庁へ就職して最初の配属先が岩国県税事務所となりました。私の職場は麻里布の繁華街にありましたので、仕事後のノミネーションに都合が良かったと記憶しています。そして県庁勤務の最後は東京でした。赴任した3年前の4月は新型コロナウイルスが感染拡大の真っ只中で、その一週間後に緊急事態宣言が発出され、外出自粛要請により、都内のデパートや飲食店が休業となり、普段なら多くの人々が行き交う繁華街も閑散となりました。その翌年までの間、国による4度の緊急事態宣言及び3度のまん延防止措置、さらには都独自の感染防止措置が発出される度に、在宅勤務等の感染防止に努めてまいりました。3年間の東京勤務を振り返ると、「コロナに始まり、コロナと共に去りぬ」でしたが、東京に住む同郷の方々や上京される地元の皆さんに大変お世話になりました。そのつながりは私自身の財産となりました。

最後に現在の状況です。県庁勤務最初の赴任地が岩国であったご縁かもしれませんが、今年6月から岩国空港ビルで仕事をさせていただいています。当空港は、平成24年12月13日に岩国錦帯橋空港として開港し、その翌年3月には累計搭乗者数10万人開港2年目で50万人、更には3年目で100万人を達成するなどお陰様で順調なスタートを切ることができました。また、搭乗者数の増加とともに、沖縄線通年1往復開始及び羽田線1往復増便等に対応するため、平成29年には立体駐車場、更に令和元年には南館を竣工して、利用者の利便性・快適性の向上に努めてまいりました。そして昨年、空港利用者や地元の皆様への10周年の感謝の気持ちを込めて、2か月間に渡る記念イベントを開催することもできました。

搭乗者数は、平成28年から平成30年まで3年連続で過去最高を記録しましたが、令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大により、開港以来過去最低という結果に至りました。昨年は新型コロナウイルスの落ち着きもあり、また、7月から全便就航したことで、搭乗者数及び搭乗率が飛躍的に回復してきたところです。今後も観光やビジネスを目的とする空港の利用促進はもちろんですが、地域の活性化に寄与できればと思っています。具体的には、首都圏の移動が容易である空港立地を活かしたIT企業等の誘致、また、首都圏や沖縄との航空ネットワークによる移住の促進、さらには、岩国の誇る歴史・伝統・食のPRによるインバウンドの拡大など、岩国の良さを国内外にもっとアピールしていきたいと考えています。



空港の全景



事務局

〒740-0012 岩国市元町一丁目1-17 デミオ元町301

☎(0827)21-4720 FAX(0827)22-3864 E-mail iwakunirc@giga.ocn.ne.jp

会長/藤本修久

副会長/山本茂男

幹事/豊田清一郎

雑誌会報委員長/岩崎秀史

例会場

岩国国際観光ホテル 毎週木曜日12:15~13:30

☎(0827)43-1111 FAX(0827)41-2483

2023年10月29日(日)第3093回例会

地域社会の経済発展月間・米山月間

秋の親睦家族例会

## 会長挨拶

会長 藤本修久



本年度も、恒例の秋の親睦家族例会にご参加頂きまして誠にありがとうございます。また企画から準備まで親睦委員会の皆様には大変お世話になります。

今回の親睦例会は下瀬美術館の鑑賞、秋空の下でのリンゴ狩り、バーベキューなど内容盛りだくさんで計画されておりますので、思い出に残るような楽しい一日になればと思っております。

会員の皆様にはご参加頂くご家族の皆様にも、精一杯のおもてなしと、とびっきりの笑顔で奉仕活動(サービス)をして頂き、日頃のツケをお支払い頂けたらと思います。

今日一日好天に恵まれ、無事に過ごされる事を願っております。




ご参加の会員とご家族の皆様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。



本日のプログラム: 2023-2024年度 秋の親睦家族例会(下瀬美術館・平田農園 リンゴ狩り)

\*11月2日(木): 休会(祝日を含む週)

次のプログラム: イニシエーション・スピーチ 松浦孝臣(帝人株式会社 岩国事業所長)

 <p>2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ <b>世界に希望を 生み出そう</b></p>	<p>2023-2024年度 第2710地区 井内 康輝ガバナー信条</p>  <p><b>「平和の種をまこう!!」</b> ~ロータリアンにできること~</p>	<p>2023-2024年度 岩国ロータリークラブ 会長テーマ</p>  <p><b>「Step by step!!」</b> ~地域を動かす力になる~</p>
--	--	---

### ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。

## 会務報告

### 1. 11月度「例会休会・変更」のお知らせ

- ・11月 2日(木):休会(祝日を含む週)
- ・11月16日(木):振替(11/12地区大会)
- ・11月23日(木):休会(祝日)

### 2. 11月度「定例理事会」開催のご案内

日時:2023年11月9日(木) 13:40~  
場所:岩国国際観光ホテル4F

### 3. 第2710地区「地区大会・記念ゴルフ大会」のご案内

11月10日(金)、広島カンツリー倶楽部 西条コースに於いて開催される記念ゴルフ大会は18名の参加です。

開催日時:2023年11月10日(金) 7:30ティーオフ

開催場所:広島カンツリー倶楽部 西条コース

プレイアール:14,740円(ビジター特別優待料金)



### 4. 第2710地区「地区大会・本会議」のご案内

11月12日(日)、広島市に於いて開催される地区大会へは、貸切バスで山口銀行岩国支店前を10時45分に出発し大竹ICから高速道路を利用して会場へ参ります。

都合悪く欠席される方は事務局へご連絡ください。なお、昼食は、お弁当を用意します。

開催日時:2023年11月12日(日) 13:00~18:30

開催場所:広島県立総合体育館・リーガロイヤルホテル広島

集合場所:山口銀行岩国支店前(出発時刻:午前10時45分)

参加者:49名

### 5. 第2710地区「地区大会・ミニ観光」のご案内

11月12日(日)、平和公園より世界遺産航路で「秋の宮島」をテーマに、ミニ観光が開催され、次年度ミニ観光担当の2名が参加します。

開催日時:2023年11月12日(日) 9:00~14:00

開催場所:世界遺産航路で「秋の宮島」へ

行程:リーガロイヤルホテル広島9時⇒平和公園9時30分発⇒宮島

### 6. 「吉川広家公銅像建立」除幕式のお知らせ

吉川広家公銅像建立期成同好会 会長 柏原伸二様より、「吉川広家公銅像建立」除幕式のお知らせが届いております。

日時:2023年11月4日(土) 9:00~

場所:吉香公園広場 噴水周辺(岩国市横山2丁目)

## 委員会報告

### 職業奉仕委員会

#### 「岩国海洋環境試験評価サテライト」見学のご案内

日時:2023年11月27日(月) 14:00~15:00

場所:岩国海洋環境試験評価サテライト(岩国市長野1805-1)

集合:現地(通津沖工業団地内)



## 10月11日(水)の例会から 岩国3RC合同例会

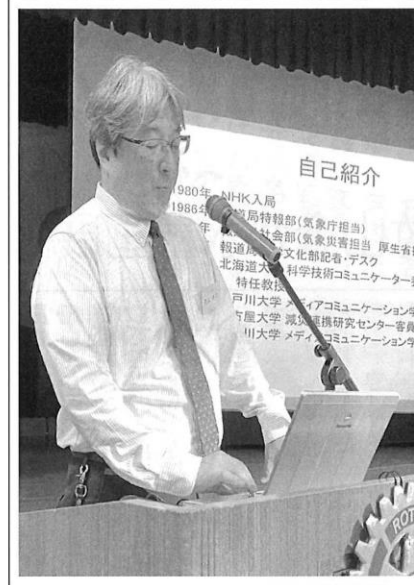
令和5年(2023年)10月13日(金曜日)

日刊いわくに

8

# 大震災の本当の教訓

## 3RC合同例会で隅本教授卓話



岩国ロータリークラブ(藤本修久会長)、岩国西ロータリークラブ(塩田博志会長)、岩国中央ロータリークラブ(勝井優会長)の3RC合同例会が11日、岩国国際観光ホテルで開かれた。進行は岩国中央RC。ゲスト講師を迎えたのは江戸川大学メディアコミュニケーション学部長、名古屋大学減災連携研究センター客員教授の隅本邦彦氏。「メディアが伝えない過去の震災のほんとうの教訓」と題し、東日本大震災や阪神淡路大震災でのメディア報道と課題について解説した。

隅本氏は元NHK記者。報道局特報部で気象庁を担当した。社会部気象災害、メディアの震災報道を語る

厚生省、科学文化部などを受け持ち、記者、デスクとして活躍した経歴を持つ。自己紹介の中で「池上彰さんは先輩に当たります」などと説明しながら、災害報道について「一所懸命に伝えてきたが、本当に十分に伝えることが出来たか」「実は一番大切なこと、コアな部分は伝えられていないのではないか」と語った。

2011年の東日本大震災による津波で2万人が逃げ遅れたことに「なぜこれだけの人が逃げなかったのか、逃げられなかったのか」と疑問を投げ掛けた。

それぞれの事例について

検証すべきだったが、「それで死者を減らすことにならなくてメディアは避けたい」と自身の経験も踏まえながら説明し、「行政は何をやっているのかと報じること、人と人の絆や被災者への優しさを伝えること、《ほめてもらえる》と、そこばかりを報じていた」と反省点を語った。

その上で、「大地震、大津波は再びやってくる。何がいかなかったか、しっかりと検証すべきだ」と訴え、「本当の教訓を伝えるべきだ」と強調した。

■電池式ラジオを  
東日本大震災では津波襲来の27分前に「津波警報」が発令された。これが伝わらなかったのはなぜか。隅本氏は「報道のシナリオが崩れた」とし、その理由に揺れている最中に大規模停電が起きたことを挙げた。

全国に一斉に伝えられた警報だったが、津波が襲来する地域では大地震で発電所の運転が止まって停電が起き、被災地域の人たちはテレビを観ることができず、結果として警報を知ることができなかった。

現在は携帯、スマホから緊急速報が流れるが、当時の普及率はそれほどではなかったこと、現在も大規模災害時に一斉通知ができるか、あるいはメールや通話ができるか確かではないことを挙げ、「一番確かなのは電池式ラジオを各家庭に備え、外出時にも携帯すること」と提唱し、「停電によって人々は情報弱者になる。津波が来るといふ悲痛な叫びは被災地に届かなかった」とした。

NHKでは現在、ネットで情報を提供する「NHKプラス」のサービスを始めている。「これは見逃した大河ドラマなどを再生視聴することが本来の目的ではなく、災害発生時に備えたもの」としながらも、被災でネット環境が障害を受けることも想定し、「アナログだが、ラジオが最後のメディアになる。ぜひ持ち歩いてほしい」と訴えた。

1995年の「阪神・淡路大地震」での教訓にも触れて、「死者の多くは地震発生から14分以内に亡くなった。その死因は窒息であった」と、家屋や家具の倒壊によって死傷者が拡大したことを挙げ、「耐震性のある建物であれば助かった命が多くある。だが、これを報道すれば、亡くなった被災者、家族を責めることになるので、伝えきれなかった」と振り返り、「本当の教訓を学ぶべきだ」と締めくくった。



### 《11月度プログラム予定》

- ・11月 9日(木):イニシエーション・スピーチ 松浦孝臣(帝人㈱ 岩国事業所長)
- ・11月12日(日):地区大会・本会議(広島市)
- ・11月30日(木):地区チーム報告 伊藤進吾

